

NO. 1	議席番号	氏 名	質問事項・要旨及び答弁者
	4	竹 田 努	
<p>1. 北の大地の福祉都市「きこない」の全国発信について</p> <p>第5次木古内町振興計画に引き続き、第6次木古内町振興計画でも北の大地の福祉都市「きこない」を目指すことになりました。</p> <p>超高齢化時代を迎えようとしている我が町の将来を見据えた時、このままでは、「住みたい、住み続けたいまち木古内」に多少不安が出てくるのではないのでしょうか。</p> <p>そこで、国の国家戦略特区（規制緩和）等を活かし、北の大地の福祉都市「きこない」を「高齢になっても安心して暮らし続けることができる町きこない」として全国に発信し、人口減少抑制になればと考えています。</p> <p>我が町には、国保病院、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症対応型共同生活施設等の施設が充実しており、居宅サービスについても一部を除いて、充実しています。他町にはない生活援助員配置の高齢者向け公営住宅などもあります。交通の便では、北海道新幹線発着駅をはじめ、交通の要衝の地の利を活かした、北の大地の福祉都市「きこない」として「きこない福祉特区」も視野に入れて、全国発信について検討すべきと考えます。</p> <p>また、福祉の町として全国発信するには、全国でも例がないサービス等も含め、木古内らしさの福祉を進める中で、きこない福祉特区が必要だと考えます。具体的には、公共施設内にサービス付き高齢者向け住宅や現有の施設での配食サービス等々が考えられます。</p> <p>町長の見解を伺います。</p>			町 長